

## 第88回朝活かみいち メモ

題目：色による癒しと刺激。色を使って Happy に

進行役：釈永由美子さん

日時：2018年2月1日水曜、7:00~8:00

参加者：16人(町内10人、初参加1人)

◆ プレトーク：参加者各位から「好きな色」についてのショートトークがあり、エネギッシュな人は赤が好き、安らぎ愛好の方は緑系が好きとのことでした。

### ◆ 話題提供

話題は、「色の感じ方や特質」、「色の日常での使い方」についての話題提供がありました。なお、記述は進行役第一人称とします。

#### <1>色の個性について

扱った色は10色「赤、橙、黄、緑、青、紫、茶、白、黒、灰」、各色の個性や感じ方について述べます。

- (1) 赤 エネギッシュ、積極性、興奮、血圧上がる。
- (2) 橙 ほのぼの感  
ピンク 愛情ややさしさ
- (3) 黄 希望と喜び、目立ちたがりや。
- (4) 緑 安定とバランス、癒しの色、リラックス効果、目に優しい。
- (5) 青 冷静沈着。落ち着いた色、血圧下がる。
- (6) 紫 悲しみを癒す。
- (7) 茶 落ち着き。
- (8) 白 清廉潔白。緊張感が増す。セット。
- (9) 黒 格調高い。ステータスシンボル、感情を表さない
- (10) 灰 どちらともつかない、自己主張を抑え周りを乱さない。

#### <2>実際の色の利用にあたり

実際の利用に当たっては、色の特性をいかして配色のルールに基づいて行います。

・好きな色をいくつも使う場合には、秩序がなくなると、人は疲れてしまいます。とって単調さんは面白くない。

・そんなことで、コーディネートが必要となってきます。例えば、部屋を飾るときには、カラフルな色をカーテンや壁で使うのではなく、カラフルなお花を飾ることにするのです。といったことがコーディネートなのです。(アフタートークの話を織り交ぜて書いてあります)

### ◆ 質疑応答

Q. 流行色はどのように考えたらいいのでしょうか。

A. 好き嫌いには、時代性も結構あります。そんなところに流行というものがあります。流行色が出回っていると、買いたくなるものです。

Q. 嫌いな色はどう考えたらいいのでしょうか

A. 嫌いな色があるということではなく、嫌いな体験が色と一体になっているのです。

Q. 病院では壁の色は白あり、冷たい感じがしますが。

A. 白色はそんな性格の色です。ですから、最近では壁を薄茶にしたり、看護師さんは薄ピンクの衣服にしたりしています。少しでも患者さんに負担をかけず前向きに元気になるようにとの工夫ということですよ。

C. アフタートークではいろんな話が出ましたが、紙面の都合で省略いたします。

### ◆ おわりに

色の配色については、部屋の飾りつけとかスタイルのコーディネートとかで使います。といったような言葉で締めくくられました。楽しいひと時でした。

進行役の釈永さん、参加の皆さん、エムラの薄田さん、ありがとうございました。

なお、スピーチ中の写真は成川さんFBより引用です。

### ◆ 事前に配信の告知文

<告知文>

色には、あたたかく感じる色、寒く感じる色、力が湧く色、心を落ち着かせる色などがあり、心や身体に影響を与えています。心惹かれる色は、その時にあなたが必要なエネルギーでもあります。色を感じて、取り入れて、楽しんでいただきたいです。色が持ついろイロなパワーについてお話しします。

<メッセージ>

学ぶことも人生を豊かにすると思っています。知りたいことがあることは幸せだなあとも。奥が深く、まだ知らないこともたくさんありますが、色に興味を持たれたみなさま、ご参加お待ちしております。

<プロフィール>

インテリアコーディネーター、家具販売の仕事(会社員)をしながら、休日に「色を楽しむ講座」を開講。

- ・カラーコーディネーター
- ・色彩福祉士
- ・認知症色彩ケアスタッフ

食卓、たべもの、花、室礼、ファッション、塗り絵など、暮らしの中に色を取り入れて楽しんでいきたいと思い、それをみなさんにもお伝えしている気軽な講座です。

